

# 平成30年度炭素・窒素安定同位体精密測定研修案内

炭素・窒素安定同位体精密測定は、地球科学、環境科学、医療や医学、工学、海洋学、農学の幅広い分野の他、産地偽装やドーピングなどを立証する有力な手段としても活用されています。しかし、ただ単に試料を装置で測定しただけでは、正確な結果が得られません。本研修では、実際に測定する技術者を対象とした、測定に関する基礎知識の習得と実習を通じて測定の手続き等、測定上の留意点等について解説いたします。研修終了後には、修了証書を授与いたします。

日程：平成30年9月20日(木)～21日(金)(2日間)

場所：公益財団法人 日本分析センター

〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町295-3

定員：2名

受講料：43,200円(税込)[テキスト<sup>☆</sup>代込]

研修終了時に修了証を授与いたします。

☆：「安定同位体比精密測定のためのマニュアル」 ©Printed in Japan ISBN 978-4-907305-00-0

※使用機器：サーモフィシャーサイエンティフィック社製の安定同位体比質量分析測定装置(Delta V Advantage)

## 【研修プログラム】

第1日目	
11:00～	ガイダンス
11:15～11:45	講義「生元素の安定同位体比～その基礎と応用～」 講師：国立研究開発法人 海洋研究開発機構 小川奈々子氏
11:45～12:00	装置・前処理・測定準備の説明
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:15	燃焼・還元炉・トラップ交換方法の説明 サンプルの秤量/ 試料前処理の説明
13:15～14:15	実習1 試料前処理/ 燃焼・還元炉交換の作業
14:30～14:45	装置稼働の確認
15:00～17:00	実習2 装置の立ち上げ、状態のチェック、EAの準備・EAとIRMSの接続 測定条件の設定・確認
17:15～17:30	質疑応答

第2日目	
9:30～10:30	実習3 測定前の準備作業 リファレンスガス出力の確認、ピークジャンプの設定、メソッドの作成
10:45～12:00	実習4 試料の測定、標準試料の分析、試料の分析
12:00～13:00	昼休み
13:00～15:00	実習5 精度管理とデータ処理、データの評価、分析終了の操作
15:15～16:30	実習6 測定後操作、保守管理、測定結果の補正
16:45～17:00	質疑応答、討論、アンケート調査
17:15～17:15	閉講式(修了証の交付)

## 【連絡先】

公益財団法人 日本分析センター 研究開発グループ  
〒263-0002 千葉県千葉市稲毛区山王町295-3  
TEL:043-423-5325 FAX:043-424-8660



公益財団法人 日本分析センター